

神庭通信

(かにわ つうしん)



平成28年度 校長室だより

第3号 H28. 6. 10



6月に入り、初夏を感じる暑さの日があるかと思うと、肌寒く気温が低い日もあります。体調管理には十分気をつけて、日々の健康観察もしっかりと行っていききたいと思います。

6月4日土曜日の授業参観には、たくさんの保護者やご家族の皆さまにおいでいただきました。クラスでの集団活動、友達や教員とのかかわりなど、学校という場所と空間で見せる児童生徒の様子や表情は、ご家庭での顔とは違うものもあつた

のではと思います。参観日ということで緊張したり意識したりしていた児童生徒もいましたが、皆はりきっていたのがよくわかりました。お気付きの点や感想などをぜひ担任にお寄せいただき、今後の指導にいかしていきたいと思います。お忙しい中ご参観くださりありがとうございました。

さて5月はオペラや弦楽四重奏など、体育館で音楽鑑賞をする機会がありました。新国立劇場合唱団のワークショップでは、ソプラノ・アルト・テノール・バスそれぞれの声の特徴を存分に感じ取ることができ、イタリア語の歌でも表現や声のトーンなどを受け止めている児童生徒の感性のすばらしさには目を見張るものがありました。児童生徒の席の間にも入ってきてくださり、歌声をすぐそばで聞くこともできました。こうした機会でなければ得られない体験によって、気づき、感じ取り、心に響いている様子が伝わってきました。

また神奈川フィルハーモニー管弦楽団による弦楽四重奏では、優しい弦楽のハーモニーに静かに耳を傾ける一方、最後のラデツキー行進曲では手拍子で参加するなど、演奏する皆さんとともに音楽を楽しむことができました。

児童生徒の鑑賞態度は本当に素晴らしく、最後まで集中していた様子に、演奏者の皆さんから「素晴らしい児童生徒の皆さんですね」というお褒めの言葉をたくさんいただきました。様々な学部の人たちと同じ空間で一緒に鑑賞できたのも貴重な経験となりました。

また、5月18～20日には高等部肢体不自由部門の修学旅行がありました。お天気に恵まれ、スカイツリーやディズニーランド、水族館など、友達と共に過ごした思い出いっぱいの旅行になりました。初夏の日差しが強く、日焼けして帰ってきた人もいました。3日間の旅行を終えて、一回り大きく成長した顔で帰ってきた3年生はとても頼もしく思えました。

中原養護学校教育計画について

平成28年度の学校教育計画、目標設定、グランドデザインを策定いたしました。学校教育計画については平成28～31年度の4年間の目標と主な方策をまとめています。中原養護学校の校歌にも歌われている「じょうぶに生きよう がんばろう」「ゆたかに生きよう ほ

ほえもう」「なかよく生きよう はたらこう」という創立時からの思いを継承し、「今」という時代に中原養護学校に求められているものや学校に与えられたミッションを実現していくための計画です。

児童生徒の生きる力を育むことは、学校としての大きな使命です。そのためには特別支援教育を推進する専門性や教育力を持ち、質の高い授業実践を行うとともに、地域との連携やセンター的機能の充実を図り、相互理解を推進することが求められています。児童生徒はもちろん、教職員や保護者の方々など児童生徒をとりまく周囲の大人も含めて主体的に取り組み、明るく活気ある学校にするという目標のもと、組織的に計画的に取り組んでまいります。また共生社会（共に生きる社会）の実現ということでは、特別支援学校だからこそできる取り組みをいっそう工夫し、地域と共に歩み信頼される学校を目指し、児童生徒の自立と社会参加を目指してまいります。

そしてインクルーシブ教育システムの推進、教育課程改善、安全対策などの今日的課題をふまえ、今年度の目標を設定いたしました。神奈川県職員行動指針とともに、中原養護学校職員として「命・人権・安全」「授業改善・自己研鑽」「礼儀正しさ・信頼」「効率」を大切にしたい4つのこととして行動指針とし、日々の教育活動に取り組んでまいります。